

満室オーナーが集う展示会

第14回

不動産ソリューションフェア

10/16火・17水

OPEN

CLOSE

11:00 ~ 17:30**東京ビッグサイト 西4ホール**
東京都江東区有明3-11-1**主催：(株)ビル経営研究所****週刊ビル経営****不動産ソリューション**

チャレンジ25

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-17-12
TEL:03-3543-7421

後援

国土交通省・経済産業省・社団法人日本ビルディング協会連合会・一般社団法人東京ビルディング協会・一般社団法人不動産協会・一般社団法人不動産証券化協会・公益社団法人ロングライフビル推進協会・公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会・公益社団法人全国ビルメンテナンス協会・公益社団法人東京ビルメンテナンス協会・一般財団法人日本ビルディング経営センター・社団法人日本ビルエネルギー総合管理技術協会・一般社団法人日本免震構造協会・一般社団法人リビングアメニティ協会・一般財団法人ベタリービング・渋谷ビル経営者協会・フリーアクセスフロア工業会・一般社団法人LED光源普及開発機構・一般社団法人全国資産保全支援ネットワーク

テーマ

都市の再生と不動産

不動産ソリューションフェア開催にあたって

株式会社ビル経営研究所が主催する「第14回不動産ソリューションフェア」は、不動産業界関係者に向けた展示・セミナーの複合型展示会です。14回目の開催を迎える今年は、「都市の再生と不動産」をテーマに開催をいたします。

今回のフェアでは、現在ビルオーナーに対して強く求められている建物施設の省エネ・節電対策について、また、再生可能エネルギーや新電力の活用をテーマに据えた企業展示・セミナー企画を用意しております。主な来場者であるビルオーナーや業界関係者に対して、多様なエネルギーソリューションを図っていきます。そして、例年好評をいただいている不動産ソリューションセミナーでは、目玉となる不動産業界リードオフマンによるパネルディスカッション・特別講演は大手デベロッパー、行政担当者、有識者など豪華な顔ぶれとなる予定です。また、経営セミナーでは、法務・税務や不動産経営、そして出展企業による実践セミナーなどカテゴリーごとに会場を設定しています。

ブース展示・ソリューションセミナー・来場者同士の情報交換の機会の提供など、様々な角度からの知識の普及・啓蒙・ソリューション提案は、不動産業に携わる全ての人々が相互に利用しあい、ひいては不動産業界全体のさらなる発展につながるものと確信しております。

株式会社ビル経営研究所 代表取締役社長 垂澤 清三

出展企業(順不同)

三幸ファシリティーズ、森ビル、日本ビルディング協会連合会、日本設計、日建設計、イナバインターナショナル、朝日リビング、スペーストラスト、新日鉄興和不動産、日本管財、平和不動産、エス・イー・シーエレベーター、東邦レオ、ダイビル、住友商事、三浦工業、地中熱利用促進協会、大光ビルサービス、全国ビルメンテナンス協会、フォーシーズ、日本鳩対策センター、田中商会、日本照明器具工業会、コンステック、矢作建設工業、関電システムソリューションズ、国際ランド&ディベロップメント、LED光源普及開発機構、東テク、オリックス不動産、東急コミュニティー、三菱地所、三菱地所リアルエステートサービス、三菱地所コミュニティ、三井不動産、ファースト・ファシリティーズ、東急リバブル、ダイキン工業、ダイキンエアテクノ、アズビル、ハマキャスト、東京ガス、ディバーシー、東京急行電鉄、タイムズ24、SFビルサポート、コロキウムBEMS、アグリゲータ、野村アーテック、イーエムシー、化研マテリアル、エレベータシステムズ、フィナンシャルギャランティ、アースアンドウォーター、プランテックグループ、富士通マーケティング、リユース・パートナー、野村不動産、フジタ、全国資産保全支援ネットワーク、清水建設、インフォマート、サンフロンティア不動産、M&A Properties、丸の内熱供給 ほか

不動産ソリューションフェアに満室オーナーが集まる5つの理由

60以上の無料セミナー
今後の経営のヒントに

懇親会 16日17:30~
業界の中で
人脈を築く機会

パネルディスカッション
業界のキーマンが勢揃い

不動産ソリューションフェア

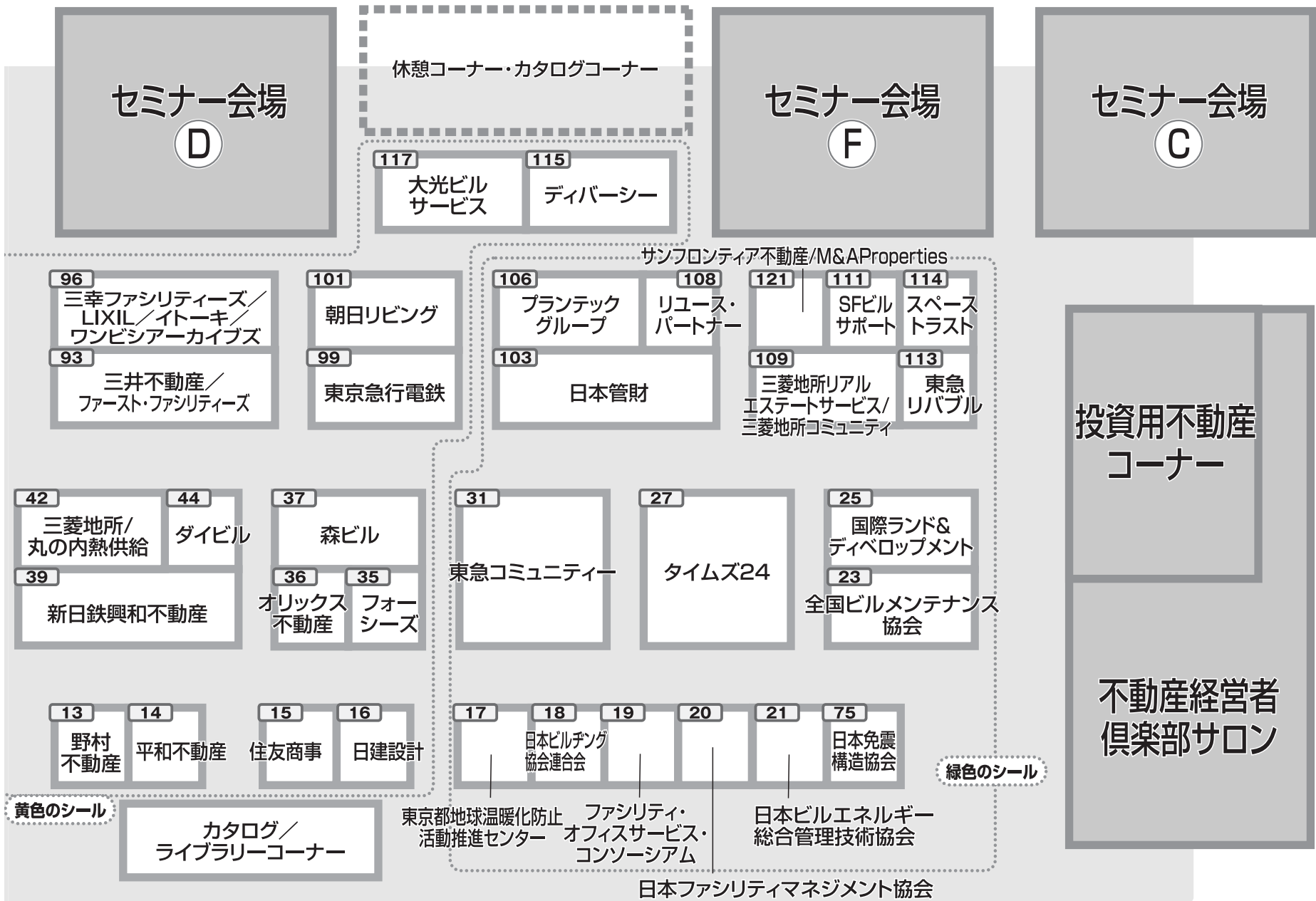
投資用不動産コーナー
厳選した物件の紹介

120社を超えるブース出展
最新設備・サービスを展示

耐震・省エネ・空室活用・相続・資産入替・リニューアルなどの悩みを解消します!!

ご質問、出展の資料請求、お申し込みは
株式会社ビル経営研究所までTEL **03-3543-7421** FAX **03-3543-5839**

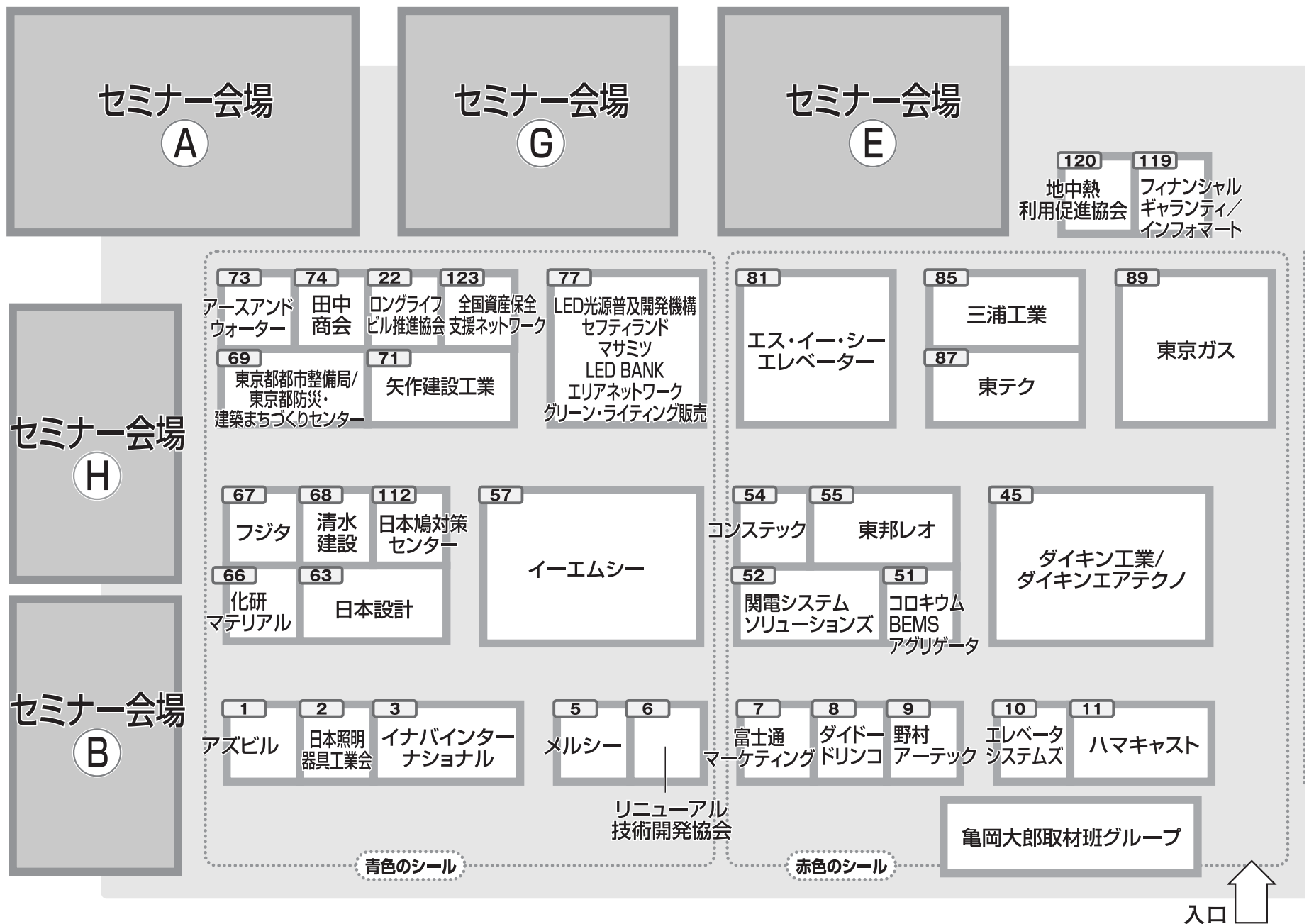
出展社ブース会場案内図



出展企業一覧

アースアンドウォーター	73	東京都地球温暖化防止活動推進センター	17
朝日リビング	101	東京都都市整備局	69
アズビル	1	東京都防災・建築まちづくりセンター	69
イーエムシー	57	東テク	87
イトーキ	96	東邦レオ	55
イナバインターナショナル	3	日建設計	16
インフォマート	119	日本管財	103
エス・イー・シーエレベーター	81	日本照明器具工業会	2
SFビルサポート	111	日本設計	63
M&A Properties	121	日本鳩対策センター	112
LED光源普及開発機構	77	日本ビルエネルギー総合管理技術協会	21
エレベータシステムズ	10	日本ビルヂング協会連合会	18
オリックス不動産	36	日本ファシリティマネジメント協会	20
化研マテリアル	66	日本免震構造協会	75
関電システムソリューションズ	52	野村アーテック	9
新日鉄興和不動産	39	野村不動産	13
国際ランド&ディベロップメント	25	ハマキャスト	11
コロキウムBEMSアグリゲータ	51	ファースト・ファシリティーズ	93
コンステック	54	ファシリティ・オフィスサービス・コンソーシアム	19
三幸ファシリティーズ	96	フィナンシャルギャランティ	119
サンフロンティア不動産	121	フォーシーズ	35
清水建設	68	フジタ	67
スペーストラスト	114	富士通マーケティング	7
住友商事	15	プランテックグループ	106
全国資産保全支援ネットワーク	123	平和不動産	14
全国ビルメンテナンス協会	23	丸の内熱供給	42
ダイキンエアテクノ	45	三浦工業	85
ダイキン工業	45	三井不動産	93
大光ビルサービス	117	三菱地所	42
ダイドードリンコ	8	三菱地所コミュニティ	109
ダイビル	44	三菱地所リアルエステートサービス	109
タイムズ24	27	メルシー	5
田中商会	74	森ビル	37
地中熱利用促進協会	120	矢作建設工業	71
ディバーシー	115	LIXIL	96
東急コミュニティー	31	リニューアル技術開発協会	6
東急リバブル	113	リユース・パートナー	108
東京ガス	89	ロングライフビル推進協会	22
東京急行電鉄	99	ワンビシャーカイズ	96

第14回 不動産ソリューションフェア



会場の見どころ

1 デベロッパー・管理会社ブース

昨年に引き続き、今年も大規模ビルの竣工や再開発が続いています。デベロッパーのブース展示では各社進行中の大規模プロジェクトを紹介しており、不動産業界関係者は要注目です。また、管理会社のブース展示では省エネ・環境対応など、昨年の電力不足をきっかけにその重要性高まるエネルギーマネジメントに関する展示内容が目立ちます。今後もビルの省エネ化は重要な課題となりますので、エネルギーマネジメントの最新事情を知りたいビルオーナーにとって注目のブースとなっています。

2 設備メーカーブース

今年のブース展示で注目となるのは補助金を活用した省エネ設備の導入およびビルの安全性向上に関する展示です。経済産業省が進めるビル管理システムであるBEMSの導入や、国土交通省が進める既存エレベーターの耐震化、そして東京都が進めるビルの耐震診断義務化など、時代が求めるニーズに即した設備改修工事・躯体工事を提案する各企業のブースは、長期的な視点で健全なビル経営を行うオーナーにとっては欠かせない情報であるといえます。

3 不動産オーナーソリューションブース

ビルオーナーにとって最も興味のあることは、所有ビルをいかにテナントリーシングに強いビルにすることだろう。今回のフェアでは、ハード面でのバリューアップによるリーシング力強化を提案する企業から、ビルオーナーの負担が一切無くリーシング力を高めるサービスを展開する企業まで、幅広く出展している。満室を実現したいオーナーは時間をかけて各出展企業のサービス内容に耳を傾けて欲しい。

4 パネルディスカッション

毎年恒例となっている各ジャンルに分けて展開するパネルディスカッション。今年は「都市の再生」、「金融」、「管理」、「中小ビルオーナー」、「環境」、「新エネルギー」、「固定資産税」とビル経営に欠かせないジャンルを業界のトップランナーが語り尽くす。その中でも注目なのは「環境」と「新エネルギー」だろう。「環境」ではスマートグリッド、「新エネルギー」では太陽光発電・風力発電・風力発電・地熱発電の専門家が登壇し、これらのエネルギー及びエネルギーマネジメントシステムが不動産業界にどのような影響を与えるのかについて議論する。

5 特別講演・実践セミナー

不動産ソリューションフェアの最大の特徴である無料セミナー。法務・税務・管理・設備といったことから、マーケット分析やリーシング手法まで満室ビル経営の実現に役立つ70超のセミナー講演を用意。特に注目なのはBEMSと太陽光発電に関する講演だ。ビル管理システムであるBEMSの導入にあたって、経済産業省が補助金制度を用意しており、中小ビルへの導入を促進している。また、太陽光発電は全量買取制度により、高額にて電力を売ることができる。電力料金の削減、新たな収益源の確保となることから、ともに必聴の実践セミナーである。

今回の不動産ソリューションフェアでは、「ビルくんシールラリー」をイベント開催期間中の両日に実施します。企業展示ブースを回りながら、シールを8枚集めることで豪華景品が当たります。受付時にもらう台紙を持って楽しみながら企業展示を見学してください。なお、シールは1企業につき1枚のみが配られ、色は青・赤・黄・緑の4色を用意しています。それぞれの色のシールが配布される場所は決まっていますので、マップを参考に各色2枚ずつ集めて抽選コーナーに来てください。皆様の参加をお待ちしております。

第14回

不動産ソリューションフェア

今年で14回目となる「不動産ソリューションフェア」。同フェアの特徴のひとつとして挙げることができるのが多数のセミナー講演を全て無料で受講できることだ。今年のセミナー講演は昨年よりさらに数を増やし全部で72講演。通常のセミナーであれば有料であろう豪華講師陣が語る不動産経営のノウハウを無料で聴講できるのは日本全国探しても「不動産ソリューションフェア」だけ。是非、複数のセミナー講演をはしごして欲しい。

今回のセミナーの特徴は、国土交通省や経済産業省が実施している省エネ・節電関連の補助金事業を活用した製品・サービスに関するセミナーだ。例えば、経済産業省の委託を受け環境共創イニシアチブが展開している「エネルギー管理システム導入促進事業（BEMS）」において、BEMSアグリゲータに認定された各企業が、それぞれの製品の特徴を紹介する予定となっている。さらに、オーナーにとって最も気になるテナントリーシングに関するセミナー講演も用意。現在、満室のオーナーも空室を抱えるオーナーもすべからず必聴である。

特別講演・パネルディスカッション

2 10月16日(火) A会場 14:30~16:00

エネルギー革命がもたらす不動産市況の変動!!これからの不動産リスクと新しい収益不動産ビジネス

●コーディネーター
REB-1000社の会
代表世話人
清水修司氏
(SD建築企画研究所 代表取締役)



1946年東京生まれ。芝浦工業大学建築学科を卒業後、六本木ビルズなどの設計会社である江三宅事務所に入社。アークビルズ、ラ・フォーレ原宿、リクルート本社ビルなどのプロジェクトに参画。1978年(株)SD建築企画研究所を設立し代表取締役社長に就任。現在に至る。これまで手掛けてきたプロジェクトは600棟を超える。2004年国土交通大臣表彰受章、2005年黄綬褒章受章。元(社)全日本不動産協会副理事長、芝浦工業大学校友会会長。「REB-1000社の会」代表世話人。

●パネリスト
ジャパン・アセット・
アドバイザーズ
代表取締役社長
南一弘氏



1982年日本大学商学部卒業後、三井不動産販売㈱に入社。1998年バドソン・アドバイザーズ入社。不動産部長として、日本における同社の不動産マネジメント体制を構築。2000年ロンスター・ジャパン・アクティビティーズへ転籍。不動産投資統括責任者として、大手生命保険会社、大手小売業など数多くの不動産ポートフォリオを担当。2001年エース・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。バリューアップを基本とした不動産再生案件を中心にコア・レイト案件も手がける。2005年4月MID都市開発株式会社(旧松下興産)の代表取締役に就任。2006年南ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。コンサルティングを中心に講演や勉強会を東京西武、

●パネリスト
ユニ総合計画
代表取締役
秋山英樹氏



東京生まれ。東京藝術大学大学院建築研究科修了。村田政真建築設計事務所を経て、現在一級建築士事務所株式会社ユニ総合計画代表取締役。100年建築と健康建物をモットーに建築実務家として、土地活用にかかわる建築企画・不動産コンサルから建物の設計・監理までを行なっており、事業コンサル型の建築家。主な著書に「建築・不動産営業担当者のバイブルになっている『実践・建築の企画営業』(清文社)のほか、「賃貸住宅の企画と建設知識」(週刊住宅新聞社)、「建築費のヒミツ」(PHP研究所)など多数ある。

●パネリスト
Loop
代表取締役社長
中村創一郎氏



北京語言大学、コマースクリエイト㈱(北京康茂商務諮詢、服務有限公司)を経て㈱UMC入社。中国にてレアメタルの販売業務に携わる。2006年㈱UMCの中国支社として上海UMC貿易有限公司を設立。総経理として就任し、レアメタルの日本向け貿易業務と、中国における買い付けを担当する。昨年3.11の震災時、石巻・気仙沼の電力が通じていない避難所にソーラーパネルを無償設置するというボランティア活動をきっかけに2011年4月㈱Loopを設立。メガソーラーから家庭用キットまで、太陽光発電の製造・販売・施工及び自社運用を行う総合企業として躍進中。

●パネリスト
元東京電力
柏崎刈羽原子力
発電所副所長
井村功氏



原子力工学専攻後、東電に入社。福島第一原子力発電所に赴任し、2、3、4号機の建設に従事。その後本社にて、原子力発電の設計基準や指針作りに参画。柏崎刈羽原子力発電所には3度赴任し、世界最大の原子力発電所の建設と運転に従事した。東電退職後も、放射線マップ作成システムの開発(特許取得)等を行い、また昨年の3.11災害後は、福島第一原子力発電所内で活用できる探査ロボットの開発の技術支援を行う等、ITや技術を活用した原子力発電関連の支援活動を行ってきた。現在は最新のIT特許にスマホを使った業務改善支援や大地震対応のプレストリス工法を使った原子力発電所の耐震・耐津波対策支援を行っている。

3 10月16日(火) B会場 11:20~12:50

新エネルギーパネルディスカッション 再生可能エネルギーがつくるビルの未来

●コーディネーター
環境エネルギー政策研究所
理事
主席研究員
松原宏直氏



東京工業大学においてエネルギー変換工学を研究し、学位取得後、製鉄会社研究員、ITコンサルタントなどを経て、持続可能なエネルギー社会の実現に向けて取組む研究者として現在に至る。持続可能なエネルギー政策の指標化(エネルギー永続地帯)や長期シナリオ(2050年自然エネルギービジョン)の研究などに取り組みながら、日本初の自然エネルギー白書の編纂をおこなう。自然エネルギー普及のため、エナジーグリーン(株)においてグリーン電力証書の普及やグリーン熱証書の事業化、およびさま進歩エネルギー(株)等での市民出資による地域エネルギー事業の支援などにも取り組む。

●パネリスト
日本小形風力発電協会
屋宣学氏
(ビルメン鹿児島
主任研究員)



昭和30年10月鹿児島県薩摩川内氏に生まれる。昭和49年3月、鹿児島県立川内商工高等学校卒業。平成元年、ヘルツ産業設立(無線通信機器工事業販売)。平成6年、株式会社クレイ工業役員就任(小型風力発電機開発製造業)。平成13年、同社代表取締役就任。平成17年株式会社A-WING設立(小型風力発電機開発製造業)。平成21年、株式会社ビルメン鹿児島GES主席研究員就任(小型風力発電機開発)。

●パネリスト
地中熱利用促進協会
理事長
笹田政克氏



昭和23年東京都生まれ。NPO法人地中熱利用促進協会理事長、産業技術総合研究所研究顧問、応用地質株式会社顧問、芝浦工業大学非常勤講師。昭和52年に東京教育大学理学研究科博士課程を修了(理学博士)。卒業後は通商産業省(当時)に入省し、工業技術研究院地質調査所、産業技術総合研究所に勤務。地殻熱部長、深部地質環境研究センター長などを歴任し、地熱の研究と地熱処分場の研究を行う。退職後は省エネやCO2排出削減、ヒートカット、ヒートアイランド抑制などに効果のある「地中熱利用ヒートポンプシステム」の普及に努める。平成20年には東京都千代田区に所有する「一番町笹田ビル」に同システムを導入。空調エネルギーの50%カットに成功している。

●パネリスト
太陽光発電販売施工協会
理事長
石丸貴樹氏
(イーステージ専務取締役)



昭和39年1月16日生。大阪府生まれ。製薬メーカーでのMR活動後太陽光発電システム販売会社へ転職。その後2002年にイーステージコーポレーションを設立し、翌年に株式会社フォトボルテックを設立。現在は両社にて太陽光発電を中心としたコンサルタント活動及び現場での施工管理活動を行っている。

38 10月17日(水) A会場 13:00~15:00

基調パネルディスカッション 都市の再生と不動産～世界都市東京発展が担うまちづくり～

●コーディネーター
明治大学大学院
教授
青山侑氏



昭和42年、東京都庁に入庁し、高齢福祉部長、計画部長、政策報道室理事等を経て、平成11年から15年まで、東京都副知事として、石原慎太郎知事のもとで危機管理・都市構造・財政等を担当。平成16年から明治大学公共政策大学院教授。専門は、都市政策・危機管理・日本史人物伝。著書に「小説後藤新平」(学陽書房)「痛恨の江戸東京史」(祥伝社)「都市のガバナンス」(三省堂)など。

●パネリスト
森ビル
取締役副社長
執行役員
山本和彦氏



昭和21年生まれ。昭和44年に京都大学工学部建築学科卒業。日本住宅公団(現・都市再生機構)入社。昭和49年森ビル入社後、昭和57年に取締役、平成9年に専務取締役就任。平成15年に取締役副社長、平成23年より取締役副社長執行役員に就任し、現職。平成19年からは森ビル都市企画代表取締役社長を兼任している。また、平成13年より(社)不動産協会都市政策委員長を、平成23年(2011年)からは筑波大学客員教授を努めている。

●パネリスト
三菱地所
都市計画事業室長
細包憲志氏



昭和36年生まれ。平成2年に三菱地所株式会社入社。入社以来一貫して都市開発事業を担当し、東京及び地方主要都市における街地再開発等のプロジェクトを主導。特に平成9年から現在に至るまで、三菱地所の基幹事業である丸の内再開発を手がけ、平成22年より都市計画事業室長に就任。公民連携による開発諸制度の創設、国策である政府新成長戦略の推進、エリアマネジメントから環境・防災施策に至る、まちづくりに関する幅広い付加価値創造を統括している。慶應義塾大学経済学部卒。

●パネリスト
東京急行電鉄
二子玉川ライズ推進部
統括部長
秋山浄司氏



1982年東急電鉄入社。田園都市線沿線の開発、海外事業を担当。98年㈱東急M&Mに出向し、たまプラーザ東急ショッピングセンター、八王子東急スクエア総支配人、取締役営業推進部長。04年東急電鉄復興、二子玉川プロジェクトの運営計画策定、実施、タウンマネジメント計画の責任者として現在に至る。

●パネリスト
三井不動産
日本橋づくり
推進部長
新原昇平氏



1955年福岡県出身。1978年東京大学法学部卒業、同年三井不動産㈱入社。ビルディング事業本部、商業施設本部営業部部長、中部支店長を経て、2011年より日本橋づくり推進部部長(現職)。日本橋エリアの再開発と街のプロモーション活動を地元関係諸団体とともに推進中。

39 10月17日(水) A会場 15:30~17:30

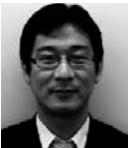
環境パネルディスカッション これからのスマート社会と環境・エネルギーマネジメント

●コーディネーター
横浜国立大学大学院
都市イノベーション研究院
教授
佐土原聡氏



1989年 横浜国立大学助教、2000年より同教授。工学博士。専門は都市環境工学。建築の分野から環境・エネルギー面の課題に取り組む、特に地域冷暖房等のエネルギー面的利用による低炭素で災害に強い都市・地域づくりの研究に従事している。

●パネリスト
経済産業省
商務情報政策局
情報経済課
課長補佐
笠間太介氏



平成15年3月東京大学大学院理学系研究科修士課程修了(物理学)。同年4月に経済産業省に入省し、航空機武器宇宙産業課、自動車課等を経て、平成24年6月より商務情報政策局情報経済課に着任(現職)。

●パネリスト
三井不動産
柏の葉キャンパスシティ
プロジェクト推進部長
河合淳也氏



1959年 千葉県生まれ
1983年 東京大学 工学部 都市工学科卒業
三井不動産(株)入社
1987年 分譲マンション事業担当
1992年 幕張ベイタウン街づくり担当
2000年 夕留ツイーパークス担当
2006年 柏の葉キャンパスシティプロジェクト担当

●パネリスト
東京建物
常務取締役
碓氷辰男氏



昭和45年 西松建設入社
平成元年 当社入社
平成14年 技術サービス部長
平成17年 取締役技術サービス部長
平成22年 常務取締役 就任 現在に至る

●パネリスト
日本設計
副社長執行役員
佐藤信孝氏



昭和48年北海道大学工学部衛生工学科を卒業、同年日本設計入社。環境・設備設計部長、取締役常務執行役員を経て現職。平成18年より20年まで(社)空気調和・衛生工学会学術理事及び副会長、また、現在(社)建築設備総合協会会長、(社)都市環境エネルギー協会理事などを務める。近年は環境・エネルギー領域のソリューション業務の拡大に取り組む。

76 10月16日(火) B会場 13:00~13:50

固定資産税パネルディスカッション

オーナーが自ら語る怒りの固定資産税

●コーディネーター
瑞宝興業
代表取締役
稲垣俊勝氏



大正12年1月創業。JR「代々木」駅近辺において、貸家、貸地、駐車場賃貸、アパート経営を開始。現在から約40年前に法人化、瑞宝興業を設立し、稲垣氏が代表取締役に就任する。宅建免許も保有しており、30年の仲介実績を有する。現在はオフィス、駐車場を賃貸するビルオーナーであると同時に、不動産仲介・管理会社の視点からもビル経営を行っている。

●パネリスト
エスベア
代表取締役
清水茂氏



昭和23年、東京都港区生まれ。武蔵工業大学卒業後、帝都高速度交通営団(現・東京地下鉄)にて工事部門に携わる。昭和59年に自宅と隣地を共同ビルとして建替え「オフィス虎ノ門1ビル」を竣工。所有部分の管理運営を目的として会社を設立し、代表取締役に就任する。共同ビルに対しての不当な固定資産税の賦課に対し、港区民の有志と平成9年より運動として積極的な抗議活動を行っている。

●パネリスト
フィオーレ
喜連川
管理組合
理事長
浅香充宏氏



昭和34年東京生まれ。日本大学法学部新聞学科在籍中に、農林水産大臣加藤六月議員事務所等で書生活動。昭和58年より弘済建物株式会社に勤務。平成17年株式会社ベガを設立。同時に温泉付住宅地フィオーレ喜連川管理組合理事長に就任。同団地行政区副区長として「街づくり運動」の活動中。

●コーディネーター
鈴木エステート
サービス
代表取締役
青木邦啓氏



昭和30年、東京都出身。同志社大学法学部卒業。東京、芝大門等にてビル経営を行う一方、管理会社として約30棟を管理。ビル経営管理士。ビルオーナーと顧問契約を結び、金融交渉や経費見直しにあたる。著書に「中小テナントビルの経営と管理」(ぎょうせい)など。

●パネリスト
飯沼総合
法律事務所
弁護士
児玉譲氏



東京大学法学部卒業。昭和62年第一東京弁護士会登録。主たる業務分野は不動産取引関係の法務(売買、賃借等契約書類の検討や作成、裁判上裁判外の事件処理)、企業法務(契約処理、債権回収等)、相続・遺言の法務、著作権などの知的所有権関係の法務等。

●パネリスト
再生計画
研究所
代表取締役
清水博氏



昭和52年、早稲田大学建築学科卒業。昭和54年、東京工業大学理工学部建築工学研究科社会工学専攻修了。同年熊合組に入社。平成6年、リバックス建築環境計画を株式会社人化し、代表取締役に就任。現在は代表取締役会長のを務める。また、再生計画研究所の代表取締役も務めている。

